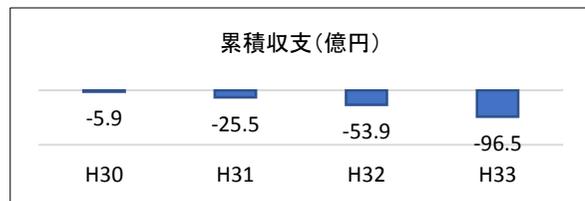


中期財政計画の状況

中期財政見通し [H30-33年度] 《P3》

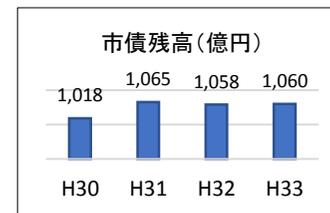
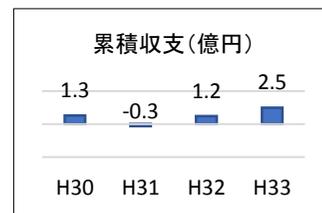
累積収支は97億円のマイナス、引き続き厳しい財政見通し

- 【要因】
- ・地方交付税の減少(合併算定替終了、トップランナー方式等)
 - ・普通建設事業費、公共施設保全事業費の増加
 - ・少子高齢化による社会保障関係費の増加



改革改善の取組・中期財政計画 [H30-33年度] 《P45》

- ・第2次改革工程表による35項目の改革改善の取組実施により、計画期間において99億円の収支が改善し、累積収支は2.5億円のプラス
- ・市債残高は普通建設事業費の増により、一時的に市債発行額が元金償還額を上回るため増加
- ・財源調整2基金は数値目標である標準財政規模(610億円)の10%維持



第2次改革工程表における取組みのポイント

ポイント1 職員の自発的改革を促す取組推進

「より質の高い行政サービスをより低いコストで提供する」という行財政改革の目的達成にあたり、部局長によるマネジメントのもと、職員の自発的改革をより一層促す取組を行います。

- 【取組概要】
- 税収増加に寄与する事業や将来負担軽減につながる取組に対する財源の重点配分(予算特別枠創設検討)《P35》
 - 職員数の縮減を伴う業務改革に対するインセンティブ付与の検討《P20》
 - 人事評価の結果が低い評価項目に関する研修の実施(人事評価結果と研修の連動)《P24》
 - 職員活動発表会の活性化方策検討《P24》
 - 職責や勤務実績に応じた給与配分の検討《P21》

ポイント2 働き方改革に向けた取組推進

限られた時間で成果を上げる生産性の高い働き方やワーク・ライフ・バランスを推進するため、部局長によるマネジメントのもと、働き方改革に向けた取組を行います。

- 【取組概要】
- タイムカード等客観的な勤務時間管理のための仕組みの導入《P22》
 - 時間外勤務縮減に関する管理職研修の実施《P22》
 - 部局ごとの時間外勤務削減目標の設定と進捗管理、部局長の人事評価への反映《P22》

ポイント3 重点推進項目の着実な推進

後期プランにおいて設定した重点推進項目の着実な推進を図り、収支不足の解消による健全な財政運営のもとで、行政サービスの安定的な提供を図ります。

- 【取組概要】
- 補助金ガイドラインに基づく補助金の見直し・効果検証(補助率1/3を超える補助金及び長期間経過している補助金の見直し)【効果額9.86億円(H31~33)】《P11》
 - 業務量分析に基づく適正な定員管理(アウトソーシング、業務の再編・効率化等)【効果額7.01億円(H30~33)】《P20》
 - 公共施設適正配置・保全実施計画の策定・実行(適正配置・長寿命化改修の実施)【効果額6.00億円(H30~33)】《P43》
 - 地区自治協議会における防災・福祉等地域課題の取組推進、コミュニティセンター化に向けた検討《P26、27》